



地域の活性化と災害に強い森づくり

- 未利用木材をエネルギーに転換 -

木質バイオマス供給施設がオープン！

木質バイオマスエネルギー用の燃料チップを製造する「木質バイオマス供給施設」（柏原町下小倉）の開所式が5月21日（水）に行われ、関係者が完成を祝いました。

搬出される間伐材のうち、未利用となった木材をチップに加工し販売。循環型の環境にやさしいエネルギーとして活用されます。

施設は、丹波市森林組合、丹波ひかみ森林組合、丹波林産振興センターの3者が設立した「(株)バイオマスたんば」が運営し、スギやヒノキなどから年間約4,000トンのチップを製造する予定です。式典で、(株)バイオマスたんば中尾正文社長は、「木材の地産地消を行いながら、地域の活性化を図ると



辻市長ら関係者が集まり、木質バイオマス供給施設の完成を祝いました

ともに、森林整備を通して災害に強い森づくりをめざしたい」と話しました。

今後、製造されたチップは、木質チップボイラーを備えた青垣総合運動公園の温水プールや本年度導入予定の薬草薬樹公園「丹波の湯」で活用されるほか、県内の木質バイオマス施設に販売される予定です。

アスリート指導者育成セミナーを開催します



日本陸上短距離界のパイオニアの朝原さんに選手時代や指導経験を通じた指導のあり方について講演していただきます（参加費無料）。

- と き / 7月12日（土）
開演：午後7時～（受付：午後6時30分～）
- ところ / 春日文化ホール
- テーマ / 「100m は人間力」
～ジュニア期の指導方法について～
- 講師 / 北京オリンピック銅メダリスト 朝原宣治さん
（生涯学習センター（氷上住民センター内））
- ☎ 82 - 0409

青垣いきものふれあいの里から花だよりが届きました

青垣いきものふれあいの里（青垣町山垣）のフィールドにササユリが自生しています。

以前は、シカの好物とあって、地上に顔を出したとたんに全部食べられてしまっていました。平成24年にシカ柵が設置されたおかげで、徐々に回復。今では100株ほどのササユリが可憐な姿を見せています。



●ササユリ

本州中部から九州に分布する多年草。山地の草原や明るい森林に生育する。地下に白いユリ根がある。葉が笹の葉に似てることが名前の由来



第69代横綱 白鵬

大相撲丹波場所チゲット販売第3弾

- 販売期間 / 8月25日（月）まで（土・日・祝除く）
- 販売時間 / 午前9時から午後5時
- 販売座席 / 第1・2弾販売の残席
- 販売場所 / 丹波市観光協会本部（柏原町柏原1番地）
☎ 72 - 2340
- ☎ 大相撲丹波場所実行委員会事務局
☎ 82 - 7500



デザインでまちをげんきに

株式会社 ご近所



今回は、春日町中山にある(株)ご近所を訪問しました。事務所に入ると、市内の魅力的な商品が多数展示されていました。

★魅力の掘り起こし

(株)ご近所は、市の地域資源や企業の商品の魅力を掘り起こし、発信することを主力とする会社です。情報誌ホームページなどの制作、デザインだけでなく、地域資源の調査を行ったり、地元の人とのセミナーなどを通して、地域の魅力への共感を広げる仕掛けをつくったりしています。

★移住者が従業員

「丹波市にはたくさん魅力がありますが、都市部にうまく伝わっていません。そこをつなぐ役割をするのがご近所の使命です」と話すのは小橋社長。そのために、市場となる都市部の人の気持ちを理解でき、都市部に人脈があり共感を広げることのできる移住者を、従業員として雇用しています。従業員全員が移住者という会社も珍しいですが、こうした「風の人（外からやってくる人）」が、地域で活躍する「土の人（地元の人）」

わが社のきらめく「丹波人」



中川知秋さん（28）

宝塚市出身で現在、市内の古民家で共同生活を送るデザイナーの中川さん。デザイン関係の学校へ通っていた時に地域の魅力をデザインする仕事に興味をもち、この3月に(株)ご近所に入社。「人を動かせるような強いデザインを手がけたい」と今後の抱負を話してくれました！



(株)ご近所が企画・制作した情報誌 [tocco.] 地域の魅力がぎゅっとつまっています

と協力して行う魅力発信は、同社ならではの方法といえます。
★ターゲット像を描いて魅力を発信
市の魅力を都市部に届けるために制作した情報誌「tocco」は、「風の人」だからこそ見える具体的なターゲット像を設定し、制作されています。想定する読者のライフスタイルにあった内容、色使いなど、すべてに共感してもらえよう工夫がたたくさん詰まった「tocco」を、東京や大阪といった都市部のターゲットが立ち寄りそうなお店で配布し、市の魅力を発信しているのです！

「あとかき」
都市部への情報発信だけでなく、地元の人と交流することも大切に考えている同社。「地域のみなさんがご近所のように気軽に立ち寄れるようなお付き合ひもしていきたい」、そんな思いも感じ取ることができます。